

## 各郡の農林事務所紹介(1)

今回から複数回にわたって各郡で農家の助言指導につとめる郡農林事務所を特集します。Savan PAD プロジェクトは、2021年5月現在、サバナケット全15郡の内、9郡に合計12箇所の対象地区を選定し、活動を展開しています。その中で、今回は、プロジェクト開始当初から活動を行っている、サイブリ郡、チャンポン郡の両農林事務所を紹介します。

### サイブリ郡農林事務所

プロジェクト対象地区：トンハン地区、ソムサアード地区



サイブリ郡農林事務所  
ブンユー所長

サイブリ郡は、良質な土壌と豊富な水に恵まれ、農業を営むには適した地域です。中でも、プロジェクト対象地区は、灌漑水路の維持管理や補修を自らで行うことができるようになるなど、コメの生産性を高めるための様々な技術が培われてきました。こうした成果の要因は、郡農林事務所や郡普及員、水利組織と農家などが、互いに理解し合い、思いを一つにすることなのだと思います。今後も私達は活動が続けつつ、他の地域へも展開していくつもりです。



#### 営農分野

- ・種子・肥料貸与事業をこれまで5季実施している。この事業を通じ、対象全854農家の内、約37%の318農家に対して、コメの栽培技術を学ぶ機会が提供された。研修に参加した合計は1,212農家。
- ・各農家に貸与した種子や肥料の代金は、農家リーダーと連携して、毎回スムーズに100%回収を達成している。



#### マーケティング ／園芸栽培分野

- ・現在野菜種子生産の試験栽培を実施中。
- ・トウガラシ栽培が盛んで、一部の地区で自殖系統種子生産を検討中。

#### 灌漑／水利組織強化分野

- ・対象2地区の乾季の灌漑面積拡大に貢献。  
トンハン地区 : 336ha → 483ha (+44%)  
ソムサアード地区 : 75ha → 262ha (+249%)  
(どちらも2016年乾季と2019年乾季との比較)
- ・水利組織と農家の双方ともに水利費の重要性を理解するようになり、2地区とも水利費の徴収率はほぼ100%を達成。

#### 全般

サイブリ郡農林事務所は、普及員が頻繁に対象2地区に出向き、水利組織や農家との信頼関係が厚い。また、普及員間の業務の割り振りや、業務の引継ぎ、他の普及員への情報共有、協働作業などをスムーズに実施しており、模範的なチームと言えます。



チャンポン郡は、サイブリ郡に次いで農業生産が盛んな地域であるものの、頻発する洪水の影響による被害は少なくありません。一方、我々の側でも技術の向上を図っており、若手人材の育成に力を入れるとともに、それぞれの技術職員たちが学んだことを教え合うような機会を設けています。そうすることで、プロジェクト活動を通して職員達が得てきた知識や技能は定着し、さらに強化されていくことと思います。



チャンポン郡農林事務所  
スックサモン所長

## 全般

チャンポン郡の対象地区は、雨季になると洪水被害に見舞われることが多いため乾季における栽培の重要性が高く、水利組織との連携が重要な地域と言えます。



## 営農分野

・若手の普及員が日本人専門家や県職員、篤農家などから積極的に学んでおり、彼らが中心となって農家研修での講義や現場でのモニタリング、収量調査などを実施している。

## 灌漑／水利組織強化分野

- ・対象 2 地区の水利組織の会合が定期的に実施され、水管理能力が向上している。
- ・効率的な配水への意欲が高く、民間資金等を活用した水路整備にも力を入れている。

- ・対象 2 地区（ゲンコックヌア、ポントーン・ドンニエン）において種子・肥料貸与事業をこれまで 5 回実施し、対象全 185 農家の内、約 74% の 134 農家にコメの栽培技術を学ぶ機会が提供された。
- ・この事業で農家が貸与を受けた種子・肥料の代金は、洪水による大被害のあった年を除いてほぼ遅滞なく 100% 回収できている。
- ・対象 2 地区のコメの収量が約 15% 増加した。（乾季作の坪刈り調査結果）

## 新専門家紹介 – 菊池専門家 (PAPC 運営指導)



カウンターパートと打ち合わせする菊池専門家 (中央)

プロジェクト終了後も、県として活動を継続していくために、昨年、県農林局をはじめとする関係部局によって「参加型農業推進委員会 (PAPC)」が組織されました。これから、PAPC とそのワーキンググループの活動を県としてどのように行っていくかを話し合い、PAPC の中長期計画を策定し、実施しながら理解を深めて、PAPC が持続的に運営されるように支援します。